

～海洋資源を活用した温暖化対策プロジェクト「横浜ブルーカーボン」～

第8回横浜ブルーカーボンシンポジウムを開催します！

— クレジット創出者、カーボン・オフセット実施者の取組紹介 —

横浜市では、海洋資源を活用した温暖化対策プロジェクト「横浜ブルーカーボン^{※1}」に取り組んでいます。「横浜ブルーカーボン」では、海洋の海草・海藻等によって吸収・固定される炭素「ブルーカーボン^{※2}」と海洋におけるエネルギー等の利活用「ブルーリソース^{※3}」とを一体として温暖化対策を進めています。さらに、これらによる海辺環境の魅力の向上を「親しみやすい海づくり」として環境教育につなげています。また「ブルーリソース」、「ブルーカーボン」を活用した、本市独自のカーボン・オフセット制度^{※4}（「横浜ブルーカーボン・オフセット制度」）を運用しています。

このたび、令和元年度のクレジット創出者、カーボン・オフセット実施者に、日ごろの思いや活動を発表していただく場として「第8回ブルーカーボンシンポジウム in 横浜」を開催します。

また、本会において国土交通省 国土技術政策総合研究所 海洋環境・危機管理研究室長 岡田知也 様より「ブルーカーボンを含む沿岸域の環境価値の総合評価」について御講演いただきます。

【第8回ブルーカーボン・シンポジウム in 横浜】

※詳しくは別添1（「第8回ブルーカーボンシンポジウム in 横浜」チラシ）を御参照ください。

日時：令和2年1月29日（水） 12時30分から14時45分まで（開場：12時00分）

会場：横浜市開港記念会館 9号室

発表：「横浜ブルーカーボン・オフセット制度」取組紹介

講演：ブルーカーボンを含む沿岸域の環境価値の総合評価

取材を希望の方は、直接会場にご来場ください。

【横浜ブルーカーボン・オフセット制度 令和元年度の取組（平成31年4月から令和2年1月まで）】

※詳しくは別添2（横浜ブルーカーボン・オフセット制度 令和元年度の取組（平成31年4月から令和2年1月まで））を御参照ください。

（クレジット創出）

- ・申請者数 : 7 [者]
- ・プロジェクト数 : 11 [プロジェクト]
- ・クレジット総量 : 259.6 [t-CO₂]（杉の木^{※5}約3万本分）

（オフセット実施）

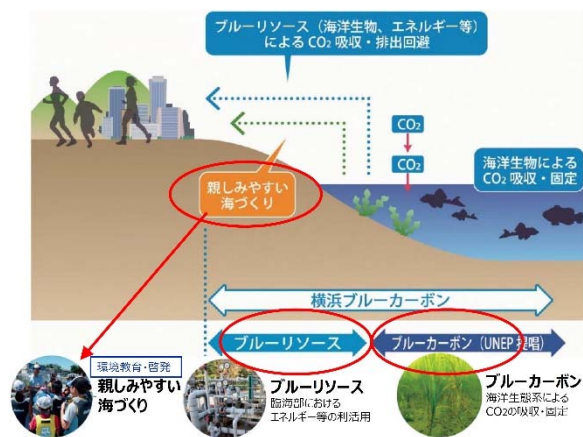
- ・申請者数 : 14 [者]
- ・オフセット総量 : 120.3 [t-CO₂]（杉の木約1万4千本分）

（注目すべき点）

- ・ブルーカーボン（アマモ、わかめ、コンブ、アラメ場）のクレジット認証を実施
- ・ブルーカーボンで連携する他自治体からの申請についてクレジット認証を実施
- ・個人による航空機での移動に伴い排出されるCO₂のオフセットを実施

【※1 横浜ブルーカーボンとは？】

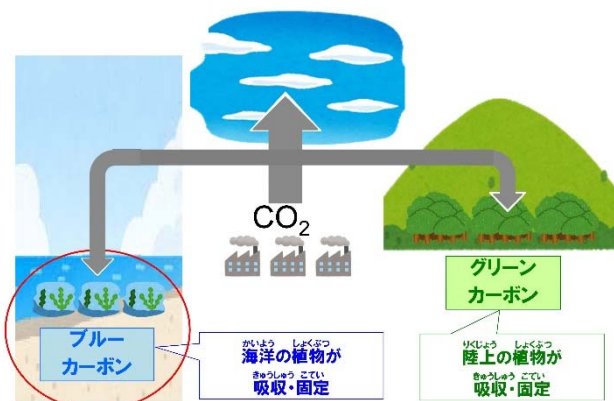
横浜ブルーカーボン事業では、ブルーリソース・ブルーカーボンによる独自のカーボン・オフセット制度の運用や環境教育・啓発活動によって親しみやすい海づくりに市民の関心を集め、市民や団体の豊かな海を守る活動を応援していきます。



横浜ブルーカーボンの3事業領域

【※2 ブルーカーボンとは？】

森林が吸収・固定するCO₂をグリーンカーボンといいます。同様に、海洋生態系が吸収・固定するCO₂をブルーカーボンといいます。



ブルーカーボン、グリーンカーボン

【※3 ブルーリソースとは？】

海を利用した取組による省エネ効果・CO₂排出量削減効果をブルーリソースと呼んでいます。これは横浜市独自の考え方によるものです。

【※4 カーボン・オフセット制度とは？】

CO₂排出量削減の手法のひとつとして、他者のCO₂排出量削減やCO₂吸収・固定の効果を買い取り、自らのCO₂排出量と相殺するカーボン・オフセットがあります。カーボン・オフセットには、クレジット申請者には資金面の支援を受けることにより活動が活性化できるメリットがあり、オフセット実施者にはCSR活動として広報を行うことで企業価値が向上するメリットがあります。

横浜ブルーカーボン・オフセット制度では、クレジット申請者が受け取る販売代金の使途を“ブルーカーボン又はブルーリソースによる温暖化対策、環境保全、環境啓発の活動に活用すること”としています。これにより、豊かな海づくり活動のさらなる活性化がもたらされ、オフセット制度による好循環サイクルが形成されています。



オフセット制度による好循環サイクル

【※5 杉の木1本分のCO₂吸収量とは？】

樹齢80年の杉の木1本1年分のCO₂吸収量を8.7 [kg-CO₂/年]として計算しています。

お問合せ先		
温暖化対策統括本部プロジェクト推進課長	岡崎 修司	Tel 045-671-2636

1/29
2020
in Yokohama



第8回ブルーカーボン シンポジウム in 横浜

🕒 日時 令和2年1月29日(水)
12:30 - 14:45
(開場 12:00)

※ お席には限りがありますので、満員の場合は入場をお断りする場合があります。

📍 場所 横浜市開港記念会館
9号室
横浜市中区本町1-6

参加費 ≫ 無料

主催 ≫ 横浜市

※ ブルーカーボン・シンポジウムの入場はご登録不要です。



海と産業革新コンベンション (うみコン 2020)

日時 令和2年1月29日(水)
10:00 - 17:00

会場 横浜市開港記念会館

主催 海洋都市横浜うみ協議会 / 横浜市 /
海と産業革新コンベンション実行委員会

内容紹介 ●●●

海洋に関する政策・研究・技術開発などの基調講演、
3つの国立研究開発法人によるシンポジウム、最先端の研究成果
や技術開発を紹介したパネル展示、新たな海洋産業の創出に
繋げるためのビジネスマッチングイベント等

※うみコンに参加される方は事前登録をお願いします。
URL <http://www.umi-con.com/>

〈お問い合わせ先〉 横浜市温暖化対策統括本部 プロジェクト推進課
Tel 045-671-4109 E-mail on-ygv@city.yokohama.jp



みんなで育てよう、地球を守る海の力

🚢 開催趣旨

本会は、2019年度に横浜ブルーカーボン・オフセット制度を活用し、クレジットを創出した企業・団体、カーボン・オフセットを実施した企業・団体などに日ごろの思いや活動を発表していただく場として開催します。また、「ブルーカーボンを含む沿岸域の環境価値の総合評価」について有識者からご講演いただきます。

🚢 プログラム

12:00

開場

開会あいさつ

横浜ブルーカーボン事業について 横浜市温暖化対策統括本部

「横浜ブルーカーボン・オフセット制度」取組紹介

クレジット創出者（1者3分の発表）

「横浜ブルーカーボン・オフセット制度」取組紹介

オフセット実施者（1者3分の発表）

休 憩

講演 「ブルーカーボンを含む沿岸域の環境価値の総合評価」

国土交通省 国土技術政策総合研究所 沿岸海洋・防災研究部
海洋環境・危機管理研究室長 岡田 知也 氏

14:45

閉会

🚢 横浜ブルーカーボン事業

横浜市では、海洋資源を活用した温暖化対策プロジェクト「横浜ブルーカーボン」に取り組んでいます。「横浜ブルーカーボン」では、海洋の海草・海藻等によって吸収・固定される炭素「ブルーカーボン」と海洋におけるエネルギー等の利活用「ブルーリソース」とを一体として温暖化対策を進めています。さらに、これらによる海辺環境の魅力の向上を「親しみやすい海づくり」として環境教育につなげています。

また「ブルーリソース」、「ブルーカーボン」を活用した、本市独自のカーボン・オフセット制度（「横浜ブルーカーボン・オフセット制度」）を運用しています。昨年度までは、「地元産わかめの地産地消」や「ハイブリッドタグボート」等の「ブルーリソース」によるCO₂削減効果で、クレジットを創出してきました。本年度は、新たに「海の公園のアマモ場における温室効果ガスの吸収・固定」や「横浜市域における養殖コンブの温室効果ガス吸収・固定」等の「ブルーカーボン」によるCO₂削減効果で、クレジットを創出しました。

創出されたクレジットは、スポーツイベントの開催で排出されたCO₂のオフセット（埋め合わせ）等で利用されています。

※カーボン・オフセット…自らのCO₂等の温室効果ガス排出量のうち、どうしても削減できない量の全部又は一部を、他の場所での排出削減・吸収活動に投資することによってオフセット（埋め合わせ）する事を言います。



◆ 注意事項 ◆

本イベントの内容を予告なく変更する場合がありますので予めご了承下さい。プログラムの追加、訂正は随時横浜市 Web ページにてご案内します。
<http://www.city.yokohama.lg.jp/ondan/ygv/bluecarbon/>



横浜ブルーカーボン・オフセット制度 令和元年度の取組(平成 31 年4月から令和2年1月まで)

横浜ブルーカーボン・オフセット制度での令和元年度の取組は次のとおりです。

(クレジット創出)

- ・申請者数 : 7 [者]
- ・プロジェクト数 : 11 [プロジェクト]
- ・クレジット総量 : 259.6 [t-CO₂]

(オフセット実施)

- ・申請者数 : 14 [者]
- ・オフセット総量 : 120.3 [t-CO₂]

(注目すべき点)

- ・ブルーカーボン（アマモ、わかめ、コンブ、アラメ場）のクレジット認証を実施
- ・ブルーカーボンで連携する他自治体からの申請についてクレジット認証を実施
- ・個人による航空機での移動に伴い排出される CO₂ のオフセットを実施

(1) ブルーカーボン・クレジット創出 一覧

団体等の名称	削減及び吸収の方法	主なモニタリング指標	クレジット [t-CO ₂]
株式会社新日本海洋社	重油燃料のタグボートから LNG 燃料のタグボートへの代替による燃料起源の CO ₂ 削減	LNG 消費量 147.32 トン	143.3
	省エネ性能に優れたハイブリッドタグボートへの代替による燃料起源の CO ₂ 削減	重油消費量 209kl 電気使用量 138kWh	89.4
横浜市	海の公園のアマモによる温室効果ガスの吸収・固定	アマモ場面積 7.78 ha	12.3
横浜市漁業協同組合	養殖コンブの育成による温室効果ガスの吸収・固定	コンブ生育量 129.65 トン	5.4
	わかめを地産地消し、市外から市内へのわかめの輸送を削減すること等による CO ₂ 削減	わかめ消費量 5.38 トン	4.9
	養殖わかめの生育による温室効果ガスの吸収・固定	わかめ生育量 22.79 トン	0.2
株式会社横浜八景島	わかめを地産地消し、市外から市内へのわかめの輸送を削減すること等による CO ₂ 削減	わかめ消費量 1.00 トン	1.4
	海水と熱交換するヒートポンプの導入によって得られる省エネ効果による CO ₂ 削減	海水温、気温	1.0
特定非営利活動法人 海辺つくり研究会	わかめを地産地消し、市外から市内へのわかめの輸送を削減すること等による CO ₂ 削減	わかめ消費量 0.85 トン	1.0
日向市	東ソー日向株式会社護岸部のアラメ場による温室効果ガスの吸収・固定	アラメ場面積 0.19 ha	0.5
一般社団法人 里海イニシアティブ	養殖コンブの育成による温室効果ガスの吸収・固定	コンブ育成量 6.38 トン	0.2
クレジット創出 合計			259.6

(2) ブルーカーボン・オフセット実施 一覧

団体等の名称	横浜ブルーカーボン・オフセット制度での オフセット対象	オフセット [t-CO ₂]
世界トライアスロンシリーズ 横浜大会組織委員会	2019ITU世界トライアスロンシリーズ横浜大会の開催 (令和元年5月18日、19日)に伴い排出されるCO ₂ ・大会出場者の大会会場までの往復移動 ・運営関係者の大会会場までの往復移動 ・大会会場(前日・当日)におけるエネルギー使用	28.4
株式会社横浜フリースポーツクラブ (横浜FC)	2019年8月24日に開催された横浜FC「2019ECOパ ートナーDAY」(J2リーグ第29節横浜FCvs鹿児島ユ ナイテッドFC)の来場者6,800人の交通移動に伴い排 出されるCO ₂	27.8
エコモーション株式会社	第7期(2018/3~2019/3)における廃棄物処理・ リユース・リサイクルの運搬に係わる全車両の燃料 の使用に伴い排出されるCO ₂ の一部	22.0
石井造園株式会社	年間事業に伴い排出されるCO ₂ の一部 ・建屋での水道・電気の使用 ・車両での燃料(ガソリン・軽油)の使用	16.8
日清オイリオグループ株式会社 横浜磯子事業場	横浜磯子事業場の「ウェルネスギャラリー」等での 電力の使用に伴い排出されるCO ₂ の一部	6.2
JXTGエネルギー株式会社 根岸製油所	根岸製油所内の「ENEOSホール」等での電力の使用 に伴い排出されるCO ₂ の一部	6.1
横浜シーサイドトライアスロン 大会実行委員会	第10回横浜シーサイドトライアスロン大会の開催 (令和元年9月29日)に伴い排出されるCO ₂ ・大会出場者の大会会場までの往復移動 ・運営関係者の大会会場までの往復移動 ・大会会場(前日・当日)におけるエネルギー使用	5.7
みなとみらいスマートフェスティバル 実行委員会	みなとみらいスマートフェスティバル2019におけ る発電機での燃料の使用、施設での電力の使用、及 び廃棄物の処理に伴い排出されるCO ₂	2.2
株式会社湘南貿易	2019年12月1日に開催された第14回湘南国際マ ラソンで使用したエコ袋(荷物袋)26,000枚の製造か ら廃棄に伴い排出されるCO ₂ の一部	1.0
株式会社大川印刷	令和元年度の印刷事業に伴い排出されるCO ₂ の一部 ・電力の使用、・ガスの使用、・水道の使用 ・ガソリンの使用、・軽油の使用	1.0
株式会社ユーズ	TOKYO 油田(株式会社ユーズ)が、株式会社聘珍樓の SARIO 聘珍茶寮、聘珍樓(溜池山王店、吉祥寺店、日比 谷店、横濱本店)における廃食油を回収する際の車両 での燃料の使用に伴い排出されるCO ₂	1.0
中電技術コンサルタント株式会社	令和元年度のブルーカーボンに関わる事業活動(移 動交通)に伴い排出されるCO ₂	0.9
横浜消火器株式会社	「いそごどもエコフェスタ2019」の来場者700 人の来場に伴い排出されるCO ₂ の一部	0.7
個人	海外でのイベントに参加するための航空機での移 動に伴い排出されるCO ₂	0.5
オフセット実施 合計		120.3